

1. 活動のテーマ

テーマ： 自然と水

～自然物と組み合わせて遊びからの発展～

設定理由：

園庭には手押しポンプや草花、木の実など、子ども達が自由にふれられる自然物があります。水と自然物を組み合わせることで、「色が変わる」「水が流れる」「においがする」など、さまざまな発見や気づきが生まれます。子ども達の発送や試行錯誤を大切にしながら遊びを広げてほしいと考え、「自然と水」をテーマに設定しました。

2. 活動スケジュール

- 1年を通して活動に組み込む
- 子どもや興味や発見に合わせて活動を展開する
- 担任間で活動内容や準備物を共有する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 手押しポンプ、鍋、透明な容器、竹、脚立、ビニール袋
- 葉っぱや花、木の実などは、子ども達が素材を選び、自由に試せる環境を整える



4. 探究活動の実践

活動内容:

- 摘んできた花や葉っぱを透明な容器に入れたり、ビニール袋に入れてつぶし色水遊びを楽しむ
- 水に色が付くのを楽しむ
- 竹をつなげ、水を遠くまで流す方法を試す

子どもの姿・声、保育者との関わり:

- ポンプで水を汲んでくれる子(例:「水持ってきました!」と声かけ)
- 発見したことを保育者に伝える(例:「水の色が変わった!」)
- 小さい子どもたちが年長児の遊びをまねて発展させる姿も見られた
- 年長児が竹でつないでポンプと築山につないで水が流れるか実験が始まる
- 自然現象(霜柱)を見つけ泥あそびからおままごとへ発展し、「チョコレート!」「冷たい」と友だちとの会話も広がる



5. 保育者の気づき

- ポンプから出る水を長く出してみたい!という子どもの声に竹を用意した。子ども達は長くしたかったので「竹をつなげたいからガムテープが欲しい」とアイデアを出して友だちと協力して築山まで竹を渡していた。この時に役割分担が自然とでき、普段意見を言わない子も積極的に声を出していた。
- 幼児が遊んでいると乳児も遊びをまねしながら参加していた。
- いきいきと楽しみ精神解放が見られた。
- 子ども達が決められた遊びでなく、環境を少し整えるだけで遊びの発想が広がり、主体的に探究する姿が見られた。